

# 「水質精度管理と精度保証の今後の方向性&塩化ビニル調製実習」

—分析技術実務者向け講習会 in 東京—

安藤正典(武蔵野大学客員教授、  
元国立医薬品食品衛生研究所 環境化学部長)

水質分析では、前処理方法の正確性及び分析機器の高感性に加えて、データの精度や信頼性が求められています。高精度な分析を行うための水質精度管理や精度保証の今後の方向性について、安藤正典先生が講演致します。そして、水質分析の精度を上げて行えるように、本講習会では、最近話題になっている塩化ビニルの P&T 分析のサンプルの調製方法について試験法や手順書などに書かれていないノウハウを紹介しながら、実際に操作を行ってもらいポイントを確認します。

## ◆ 詳細

開催日時：2010年7月29日 13:00～17:00(受付 12:45～)

場 所：中小企業会館 C 会議室 地図：<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/jigyo/hall/chusho.html>

費 用：¥18,000—(税込み)

### 講習内容

1. 水質精度管理と精度保証の今後の方向性：水・環境分析技術支援ネットワーク 安藤 正典 先生

水の安全性は、水質試験結果のよって飲用の適否が判定できる。しかしながら、水道の水質検査は低濃度であるため、その測定は高度な分析技術の習得と人為的ミスを的確に監視・管理することが必要である。そのため、測定技術と保証体制の必要性と課題解決の糸口を整理する。

2. 超純水の試験における重要性と上手な使い方のポイント：日本ミリポア株式会社 金子 静知 氏

試験において正しい結果と信頼性を得るためにベースとなる超純水・純水は重要な要素です。

そこで超純水の試験に与える影響と試験をより安定させるための超純水の上手な使い方のポイントを紹介します。

3. 水道水質検査に使用する試薬について：林純薬工業株式会社 原田 修一 氏

水道水質基準項目のジェオスミンや要検討項目の塩化ビニルの試験法で使用が検討されている安定同位元素標識体を中心に、水道水質試験に使用する試薬についての情報提供。

4. 塩化ビニルモノマー調製方法について：ジーエルサイエンス株式会社 井口 えい子 氏

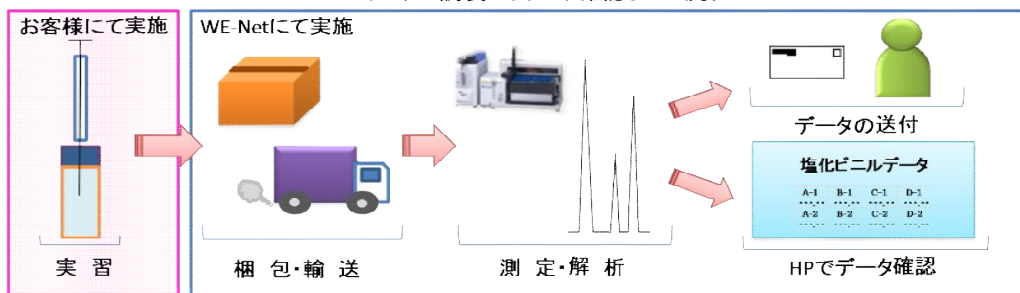
塩化ビニルモノマーは沸点が低いために損失されやすく、取り扱いに注意が必要です。標準調製にはいくつか注意があり、それらのポイントについてご紹介します。

5. 塩化ビニルモノマー調製実技講習：水・環境分析技術支援ネットワーク

調製したサンプルは、WE-Netにて分析を行い、HPにて確認できます(サンプルNo.のみ表示)。個人のデータは各自へ送付いたしますので他のデータと比較してください。

6. 質疑応答

サンプル調製からデータ確認までの流れ



注) 当日は、白衣又は作業着をご準備ください。

注) 申し込みが多数あった場合は、事前に受付を締め切ります。

## 申し込み方法

1. WE-Net 事務局へメールをお送りください。

件名に「講習会参加予約」と記載して、氏名、所属機関名、連絡先(住所、電話&Fax、メールアドレス)、参加希望者(参加希望人数)、参加者の所属先をご記入の上、お送りください。

2. お申込み受付後、ご連絡頂きましたメールアドレスへ受講受付連絡と参加費の振り込み方法についてご連絡致します。

連絡先：水・環境分析技術支援ネットワーク(WE-Net)事務局

TEL:04-2934-2194 FAX:04-2934-2746

メールアドレス：[info@we-net.net](mailto:info@we-net.net) HP：<http://www.we-net.net>